

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月14日

【評価実施概要】

事業所番号	3873900769		
法人名	有限会社 ケアサポートいずみ		
事業所名	グループホームいずみ		
所在地	北宇和郡鬼北町大字永野市98番地1 (電話) 0895-45-2171		
管理者	鬼塚 礼子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月18日	評価確定日	平成20年10月14日

【情報提供票より】 (平成20年8月6日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤	3人, 非常勤 9人, 常勤換算 6.7人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月6日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	2名	要介護2	3名
要介護3	3名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 81歳	最低 73歳	最高 95歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

居室で、ご自分の携帯電話でご家族とお話されたり、テレビを楽しまれる方もおられる。又、過ごしやすいよう、電気の紐の長さやゴミ箱の位置等も、職員と相談しながら決めておられる。 浴室で洗濯物を手洗いされる方がいる。詩を作られたり、短歌を詠まれる方の作品をホーム便りに載せておられる。歯磨き、排泄、食事等、ご自身で行ったことを後でご自分が確認できるよう、手作りの表が作られており、個々でチェックされていた。 職員は、食材の名前をご本人に伝えながら介助されていた。 花火大会に行く際、車酔いをされる利用者の方は、職員が車椅子でお連れした。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、事業所の理念について、職員で話し合い、又、基本方針を作成された。さらに、利用者個々の思いの把握にも、力を入れて取り組まれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は全員で取り組まれた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議では、事業所の活動報告をされ、グループホームの理解を得られるよう働きかけておられる。地域包括支援センターの保健士の方や、ケアマネージャが交代で参加していただき、研修会の案内や介護保険について説明して下さっている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・2ヶ月に1度行う家族会時、運営推進会議の内容を報告されている。又、利用料金の見直しについては、家族会時や電話等でご家族に事業所の現状を伝え、了承を得て行われた。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・事業所での花火大会やミニ運動会の際には、近所の方も一緒に楽しんでおられる。地区のイベント「でちこんか」や、花火大会には利用者も参加されている。利用者の友人の方が訪ねて来てくれることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームいずみ

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

鬼塚 礼子

評価完了日

平成 20年 7月 30日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			職員と利用者が共に慣れた地域で安心して生活ができるようにと作りあげた。		
			(外部評価)		
			職員で話し合い理念を作り、又、基本方針として「人権を尊重し支えあう仲間と共に、こころのケアを行います。地域の方々との交流を通じて、生きがいづくりに努めます」とすすむ方向を定められた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々理念に基づき、関わりの振り返りをしながら取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			毎月のミーティング時、職員は、利用者への対応や地域との交流について、気付きを出し、話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族や来訪者、推進会議等、また老人クラブ会合に出席時、説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や買物等の外出時、近隣の方と気軽にあいさつや散歩をしている。畑の作物をいただいたり、梅、山桃取り等に招待されている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老会に参加したり、地方祭・花火大会・農業祭・もちまき等、地域の行事に参加。友人・知人との交流に努めている。 (外部評価) 事業所での花火大会やミニ運動会の際には、近所の方も一緒に楽しんでおられる。地区のイベント「でちこんか」や、花火大会には利用者も参加されている。利用者の友人の方が訪ねて来てくれることもある。		今後、事業所では、日常の中でも地域の方達とかかわりを持てるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 職員の友人・知人で、在宅にて介護している方、独居の方々に施設訪問・見学に声掛けし、来訪時には利用者と共に話し合い、理解してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 各自、全職員が自己評価表に基づき記入し、勤務日職員同士で検討したり、お互いに意見の交換を行い、質の向上・改善に努めている。 (外部評価) 自己評価は全員で取り組まれた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、事業所の理念について、職員で話し合い、又、基本方針を作成された。さらに、利用者個々の思いの把握にも、力を入れて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議時に、運営・サービス内容の報告をし、それに対 しての質問・意見を参考にサービスの向上に努めてい ます。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では事業所の活動報告をされ、グルー プホームの理解を得られるよう働きかけておられる。地 域包括支援センターの保健士の方やケアマネージャが 交代で参加してくださり、研修会の案内や介護保険に ついて説明して下さっている。		今後、運営推進会議の出席者と利用者との交流会を行 いたいと考えておられる。さらに認知症やグルー プホームのことを知ってもらえるような取り組みも期待 される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営推進会議には、町担当者には必ず出席していただ き、報告・意見の交換を行う。 また、職員研修や利用者の健康・介護保険の件で連携 をとり、サービスの向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			町主催のグループホーム連絡会に参加されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			成年後見制度については、研修やミーティング時、勉 強会を行っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修・ミーティング等で学び、話しあい虐待に至る危 険を回避すべく取り組みを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には説明をしているが、ご家族が一番心配している重度化した時や、看取りについては、なお一層詳しく説明し、同意を得るようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見等は、申し送り時等に日々話し合い、解決に向け努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 来訪された時に近況報告、来訪されない方には手紙等でお知らせしている。健康状態に変化が見られた時には電話連絡をし、また2ヶ月に1回発行の“たより”も手渡ししたり、送付している。金銭管理は出納帳に記入し、定期的に領収書と出納簿コピーを渡している。		
			(外部評価) 2ヶ月に1度行う家族会時、運営推進会議の内容を報告されている。又、利用料金の見直しについては、家族会時や電話等でご家族に事業所の現状を伝え、了承を得て行われた。		さらに、金銭管理の報告等お金のことは、ご家族も気になることでもあり、細かな報告を望まれ方もおられるのではないだろうか。又、ご家族の知りたい情報を探り、個々に合わせた報告の工夫を重ねていかれることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、来訪時・家族会・手紙等で問いかけ、いただいた意見については、ミーティング等で話し合いをし、改善するようにしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で意見を聞いておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者・管理者は、職員の意見・要望を聞いているが、それについて双方で話し合いをしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の日々の生活に支障のないよう、ローテーションを組んでいる。職員の急病、急な休み時にも、柔軟に交代できる体制になっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者、ご家族への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員を考えている。やむを得ない離職の際は、新人職員も教育し引き続き信頼関係を築けるよう最善の努力をしている。		
			(外部評価) 新人職員は、先輩職員に付いて習いながら、馴染んでいけるよう取り組まれている。夜勤は、職員が慣れるまで2人体制で行うようにされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での研修に職員が交代で受講できるようにしている。研修後、報告はミーティング等にて報告している。		
			(外部評価) 外部研修に、職員は順番に参加し、研修内容は、事業所内で報告されている。研修で習った「センター方式の24時間生活変化シートの記録」を採り入れ、現在、職員全員で取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			南予のグループホーム協会の研修に参加して、同伴者と交流を持ち、相互訪問の活動を通じて、サービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			町内のグループホームの連絡会が発足し、運営推進会議の開催の工夫等、意見交換を行っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日常会話の中から、職員のストレスや悩みを把握するように努めている。親睦の場を作り、気分転換を図れるような機会も作っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者も、日々利用者との会話及び各職員の勤務状況、健康状態等を把握し、また職員の資格取得に向けた支援を行い、職場で活かせるようにしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居までに、ご本人・ご家族の施設見学等をさせていただき、説明し、まず不安を解消すべく、よく話しを伺い信頼関係が築けるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者・ご家族に施設見学をしていただいた上、ご家族の現在の状況等、話を聴くよう対応している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人の思いと状況を見ながら支援につなげている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 日々の生活に早く慣れていただくため、安心できる雰囲気作りに全職員が努めている。 (外部評価) ご家族が見学に来られ、入居が決まる場合もある。急な入居となった場合には、職員は、ご本人に対しての声のかけ方や、言葉遣いに配慮し、様子を見ながらゆっくりと馴染めるよう、かかわっておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者様と職員は、日々共に生活しながら、利用者様にも教えていただいたり、色々な場面では喜怒哀楽を共有して過ごすようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者から野菜の煮方を教えていただいたり、干し柿の作り方や洗濯物の干し方・たたみ方を教えてもらうことが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族との話し合いの中から、職員も家族の一員として支援するように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族会や来訪時に、ご家族からの相談や要望をお聞きし支援している。来訪困難な方には手紙や電話で近況をお知らせしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 友人・知人が気楽に来訪していただくよう、常に声掛けをして努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員も利用者同士の会話の中に入ったり、個性を活かして、利用者同士の関係がうまくいくように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了(死亡)されたご家族にも、年賀状などの挨拶や行事案内をしている。また、ホーム外で出会っても今まで通り対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の生活の中で、見守り・声掛けをし、把握に努めている。その人の言動や表情などから心境を推して、ご本人の希望にそえるよう努めている。		
			(外部評価)		
			センター方式のアセスメント表を用いて、利用者個々の言葉をそのままに記録し、背景を探っておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入所時、わかる範囲で生活歴を記入し、日々の生活の中で、ご本人やご家族との会話で得た情報を追加し、把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活の流れや過ごし方・状態をスタッフの間で情報を交換し把握するよう努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人・家族の希望・要望を聞き、スタッフの間で話し合い、検討したりしながら介護計画の作成をしている。		
			(外部評価)		
			利用者、ご家族からの言葉や職員の気付きを、介護計画に反映できるよう努めておられる。家族会時や電話等でも意見をいただけるよう働きかけておられるが、現在は、意見を出されることは少なめである。		さらに、ご本人がより良く暮らすためのケアのあり方について、ご家族から具体的にご意見をいただきけるよう、働きかけの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			職員の間でもかわされた情報を活かし、ご家族やご本人の希望を取り入れ、随時、見直しを行っているが、状態の変化があれば検討・見直しもしている。		
			(外部評価)		
			介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行っている。退院等、状態変化時には、随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別のファイルを作成し、その日一日の出来事（嚥下の様子・水分量・排泄量等）及び、本人の言葉やエピソード等を記録し、職員の間で共有し介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ご本人や家族の状況に応じ、通院時の送迎など必要に応じ支援している。		
			(外部評価)		
			花火大会に行く際、車酔いをされる利用者の方は、職員が車椅子でお連れした。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の人達との交流が続けられるよう、消防訓練を行ったり、ボランティア・教育機関等に協力を呼びかけて参加してもらっている。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の希望により、格安にマッサージ・理美容に行ってもらっている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらっていて、協力関係を築き続けていきたいと思っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族が希望する病院（専門医）の場合は、家人に同行してもらっている。 かかりつけ医とは、定期受診時に情報を交換したりして支援している。		
44		(外部評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医ではないが、ご家族や職員の話をお聴いてもらい、指示や助言をもらっている。ご家族と相談のうえ、入所前より専門病院を受診している方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご本人が入院した時に安心して過ごせるよう、職員の訪問や介助、また医師との話し合いの機会を作り、ホームで対応できる段階で早期退院できるようにもっていくよう支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所時に看取り介護について同意書をいただき、ご家族とかかりつけ病院との話し合いを行って支援している。 (外部評価) ご家族には入居時に、看取りについて事業所の方針を説明をされている。事業所で最期までお願いしますと言われるご家族もおられ、現在も、ご家族・医師と相談しながら支援が行われている。		ご本人にかかわる人達が一丸となって支援していくためにも、さらに、体制作りや勉強、又、話し合いを重ねていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人やご家族、医師との連携体制をとり、指示のもと重度化、終末期に向けた支援をするようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご家族や本人・スタッフ・かかりつけ医師との話し合いを行ったり、ケアプランや退所サマリー等を手渡すと共に、情報交換を行い移住直後は職員が機会を作って訪問していこうと思っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの気持ちを尊重し、プライバシーの対応(トイレにカーテンを設置したり、入浴は一人ひとりゆっくり入っていただいたり)等、配慮し努めている。</p>		
			<p>(外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者の話にゆっくりと耳を傾けておられる様子がうかがえた。毎月のミーティング時、利用者個々に受け入れてもらえるような言葉かけについて話し合っておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者に合わせて声掛けをし、要望に添えるよう努めている。また一人ひとりの利用者が自分で決める場面を作っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 自室で過ごしたい人等は、体調に合わせて声掛け・見守りを行っている。 戸外に散歩したい人には付き添っている。 ラジオ体操への参加は声掛けをし、本人の意思に任せている。</p>		
			<p>(外部評価) 浴室で洗濯物を手洗いされる方がいる。詩を作られたり、短歌を詠まれる方の作品をホーム便りに載せておられる。又、ラジオ体操を午前・午後のおやつの後に行われている。歯磨き、排泄、食事等、ご自身で行ったことを後でご自分が確認できるよう、手作りの表が作られており、個々でチェックされていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服の着替えは本人の意思で行い、介助が必要とする人は、本人の意向を聞き、支援している。(見守りの上) 本人の希望する理美容等と連携をとっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 本人の好み・量・味付けに注意し、職員と一緒にいったり、食事したり、利用者同士で片付けをしたり職員と共に行っている。 (外部評価) 食材の買出しに利用者とともに行かれたり、畑で収穫した野菜を使って調理されている。職員は、食材の名前をご本人に伝えながら介助されていた。食後に、食器洗いをされている方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の嗜好に合わせて用意したり、作ったり楽しめるようにしている。一緒に買物に行き買ってきたりしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者の動き、行動で声を掛け、トイレに誘導したり、促したり、行っている。夜間はポータブルトイレを設置している。オムツを使用している方は、時間的に交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望時に入浴したり、声掛けで利用者同士で入ったり、一人で入浴したりしている。 夏場は希望者のみシャワー浴を毎日実施している。		
			(外部評価)		
			入浴を嫌がるような方には、タイミングを見ながら何度か声かけを行い、支援されている。ご自分が愛用されているシャンプーで洗髪される方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。一人ひとりの状態により、休息してもらえるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事作りや漬物作りなど、利用者の経験を活かせる場面を作っている。 また、ご本人の昔話を聴いたり、昔の歌を聴いたり、歌ったりと楽しく過ごせるよう支援している。		
			(外部評価)		
			宝くじを購入されて、抽選日を楽しみにされている方がおられた。行きつけの美容室から、送迎をしていただき通っている方もおられる。調査訪問時、カラオケを楽しまれている方もあった。収穫した梅や赤しそで、自家製の梅干しやしそジュースを作っておられた。ご家族と共に銀行に行かれて、事業所利用料金の支払いをされる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご本人が所持している人もいれば、事務所が管理している人もいて、自分で払ってもらえる方には、お金手渡すなど工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の希望により事業所周囲を見守りで散歩したりしている。買い物・ドライブなど遠くに出かけたりしている。		
			(外部評価)		
			散歩や職員とともに食材の買出しに行かれている。季節に応じて、お花見やドライブを楽しまれている。ウッドデッキに出て、日向ぼっこされる方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者が行きたい所があれば、四季折々に計画し、遠出している。その時は、ほぼ全職員がボランティアで支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者が手紙のやりとりが出来るよう支援している。電話は、家族からかかってきた時のみ取り次いで、全室で話せるよう努めている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族やご本人の馴染みの人たちが、いつでも訪ねていただけるよう雰囲気作りに努めている。その時には、飲み物を出し、場合によっては職員も会話に加わるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自覚のない身体拘束を行っていないか、日々の振り返りを行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけずに、利用者が自由に出入りが出来るようにしている。時に、利用者が自室に鍵をかける場合は、声掛けをし開けてもらうこともある。 (外部評価) 玄関に鍵をかけず、気ままに出かける利用者の方には、職員はそっと付き添われている。		さらに、ご家族の中には、利用者が一人で出かけてしまうのではないかと不安の声もあるようだが、見守りや地域の協力者を増やす等、利用者が自由に暮らし続けられるよう、話し合いや取組みを工夫されてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者と同じフロアで記録や事務作業を行っている。自室で過ごされている方には、時々声を掛けに訪室している。夜間は時間を決め、訪室している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品は、利用者の目が届かない所に管理し保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとり予測される危険を検討し、事故防止に努めている。事故が発生した時は、報告書を作成し、今後の予防対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 夜勤の緊急時は、所長宅への緊急通報を設置し対応している。 マニュアルを作り、応急手当・初期対応の勉強を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年1回、消防署の協力を得て防災防火訓練を全職員と利用者と共にやっている。また、運営推進委員会で協力の呼びかけをしている。 (外部評価) 消防署の協力のもと、避難訓練を実施された。職員は、実際に、消防署に通報する訓練を行われた。いざとなると的確に情報を伝えられないとの課題があり、電話口に伝えることを貼っておられた。		災害時等、地域と相互に協力し合えるような体制作りも期待される。又、利用者・職員の安全・安心のためにも、事業所内でいざという時に備えて、話し合いや訓練をすすめてみてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 体力維持の為のリスクなど、一人ひとりのリスクについて把握し、家族と話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状態を職員は把握しており、少しの気付きに対し、共有し様子観察を行ったり、バイタルチェックをして変化時の記録を残し、随時対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬剤情報をカルテにはさみ、職員が内容を把握できるようにしている。変更があった場合は申し送りノートや介護記録・病院ノートに記録している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 食物繊維を多く含む食材を選んだり、適度な運動を取り入れたり自然な排便ができるよう取り組んでいる。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 口腔ケアの有無を知るためのボードを作り、職員がそれを見ることで、毎食後利用者に声掛けをしている。介助が必要な方には、歯磨きの手伝いをしている。就寝時、入れ歯の洗浄も行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事内容の写真を撮り、アルバムにしたり個別に食事摂取量を記録したりしている。栄養士の専門的アドバイスももらっている。</p> <p>(外部評価) 嫌いなメニューのある方は、別メニューで対応されている。食卓テーブルに、お茶や水が置かれており、居室でもペットボトルで水分摂取できるように用意されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価) インフルエンザは利用者及び家族の同意を得て、職員共に予防接種を行っている。嘔吐下痢に対し、全職員が学習し、予防・対策を行っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 食材は新鮮なうちに使い切るよう心掛けている。また、冷蔵庫・冷凍庫の食材の残りの点検を頻繁に行っている。まな板・布巾等の消毒は取り決めがあり、その日に行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりに、季節感がある寄せ植えを利用者と共に、玄関横に並べて育てている。腰をかけて靴がはけるよう、玄関に開閉椅子も備えている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングの飾りつけなど利用者と一緒に、利用者が描いた絵・習字などを展示。生活感や季節感を取り入れ過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 色々な形の団扇等、利用者とともに季節の作品を作り、飾っておられる。利用者は、それぞれ掘りごたつやウッドデッキ、ソファ等、それぞれの場所で過ごされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングやウッドデッキに、ベンチ・ソファを置き、仲の良い利用者同士でくつろげるスペースを作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の馴染みのあるタンスやテーブル、椅子など、生活スペースに合わせて配置し、過ごしやすいよう配慮している。 ただし、数名については、しまい込みがあり、家族と相談のうえ持ち帰られたこともある。		
			(外部評価)		
			居室で、ご自分の携帯電話でご家族とお話されたり、テレビを楽しまれる方もおられる。又、過ごしやすいよう、電気の紐の長さやゴミ箱の位置等も、職員と相談しながら決めておられる。仏壇を持ち込まれている方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者の自室は閉めきらず、外気温と大差がないよう細やかに温度調節をしている。 利用者の状況・要望により、扇風機やクーラーを使用している。また、廊下に空気清浄機も設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に応じ、浴室やトイレ、廊下などに手すりを設置し、安全に過ごせるよう配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に応じ、自立へ促したり、手助けしたり状況に合わせて行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ウッドデッキにベンチやテーブルを置き、庭の花や畑の野菜が観賞できたり、良い気候の時にはデッキのテーブルでおやつや食事を楽しむこともある。 花見・そうめん流し・芋たき等も行う。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	介護計画やミーティングの話し合いの中から、利用者一人ひとりの意向を掴んで、日々の支援をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にテレビを観たり、洗濯物をたたんだりしてコミュニケーションをとるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自室でテレビを観たり、ウッドデッキに出て散歩して花の観賞をしたりする。また、朝食は一人ひとりのペースで食べていただくようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの得意分野を職員が共に支援することにより、各々の表情が豊かになっている。それを日々繰り返し支援する。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームの敷地内は自由に出入りしているが、戸外は必ず職員が同行するようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々のバイタルチェック・表情・食事量等に注意し、変化が見られた時には、医療連携の機関に行き、医師の指導のもと支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買物・外出時(理美容・マッサージ含め)希望に添えるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来訪された時等に、近況報告等の会話をし、要望を聴き、信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	主に利用者の家族・地域の友人・知人が気軽に訪ねてくれて、他の利用者とも会話がはずむ時もある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会の方は事業内容等を理解していただいたので、今後委員の方のよりいっそうの協力により、理解・応援者が増えていくと思う。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ① 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりそれぞれの得意分野をフルに生かし、勉強し、工夫をこらして、利用者と一緒に楽しくコミュニケーションを取りながら働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各々の良し悪しを口答で言ってもらえるし、その態度・表情等で満足度がわかる。なお一層のサービス向上を図りたい。各煮の意見を述べ、その表情等で満足度がわかるほどの信頼関係を築いている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が ① 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来訪時、電話等で会話の中から、また表情等で満足していただいているのではないかとと思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・季節により遠出する回数が多い。
 ・個人を尊重して、過ごせるようにしている。
 ・利用者と共に作った新鮮な野菜、地域の方に頂く四季折々の野菜・魚等を食材に使用している。